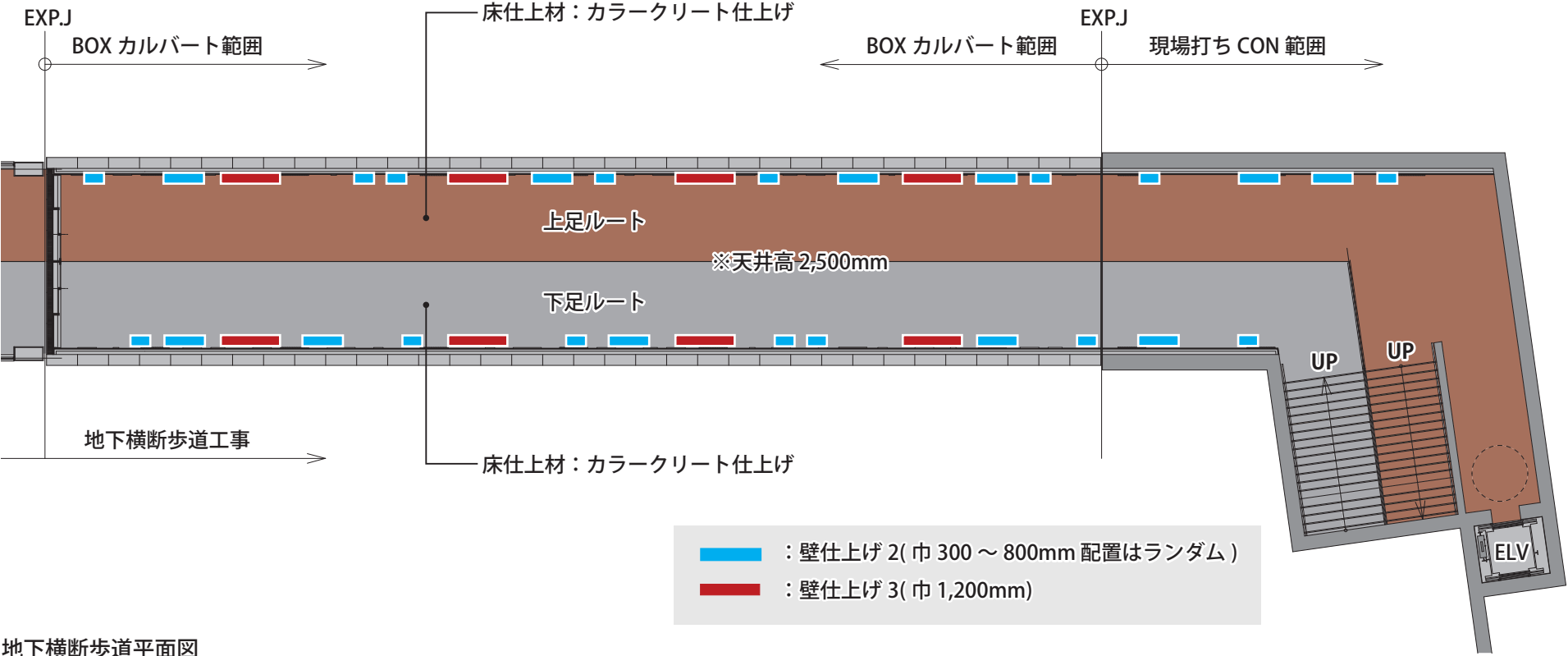
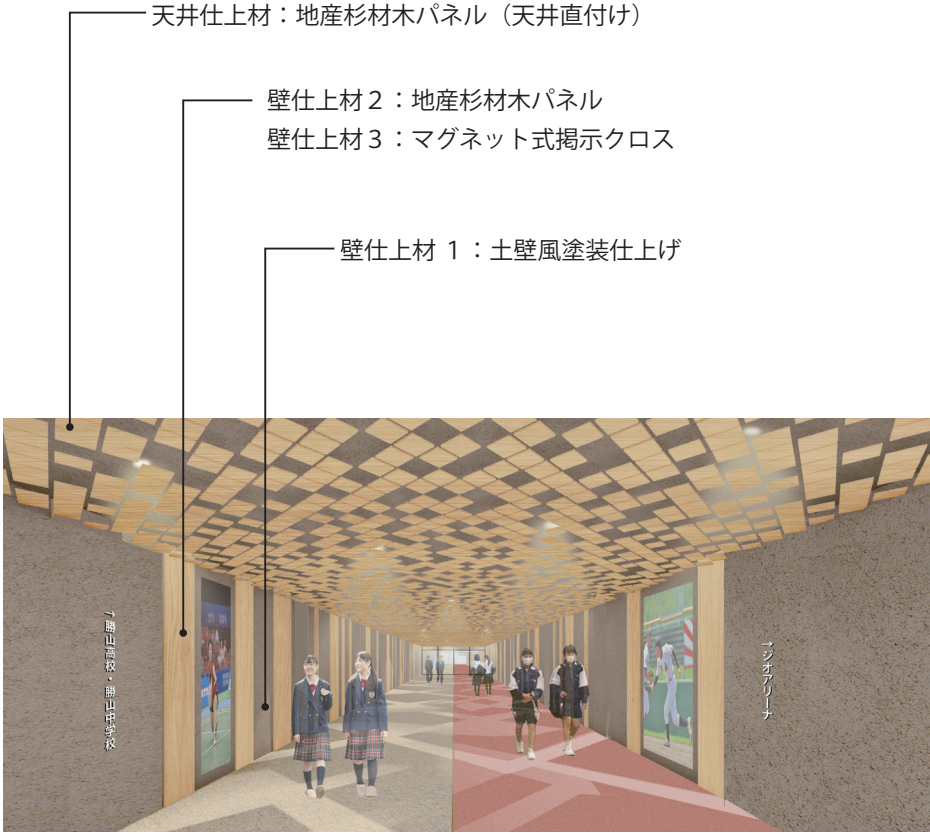


地下横断歩道内装仕上げ計画



地下横断歩道平面図



地下横断歩道内観イメージ

床仕上材

地下横断歩道は、上・下足で分かれておりますが、半外部のエリアでございます。よって、耐久性、清掃性、メンテナンス性を考慮した下記仕上げ材をご提案致します。

コンクリート金ゴテ、カラークリート仕上げ



壁仕上材

壁仕上げ材は、掲示等が容易に行える掲示クロスや、優しい風合いの、土壁風塗装、更に地産木材等を活用し、明るくリズミカルな壁面仕上げをご提案します。

壁仕上げ 1：内装薄塗材（ベース）



※色等は自由に選定が可能です

壁仕上げ 3：マグネット式掲示クロス

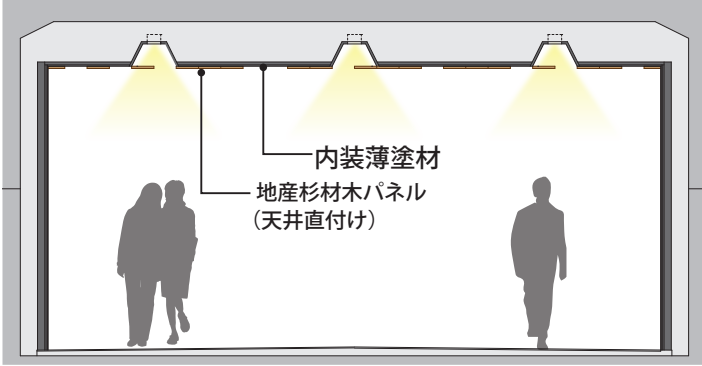


下地
サンマグネシタジ
壁紙

※鉄板入の壁面で、
掲示板利用可能です。

天井仕上材

地産杉材を活用した、木パネルをランダムに配置し、地下という暗いイメージを払拭する天井仕上げとします。子供たちが安心して利用できる内部空間を創ります。



地下横断歩道 断面イメージ

壁仕上げ 2：地産杉材木パネル



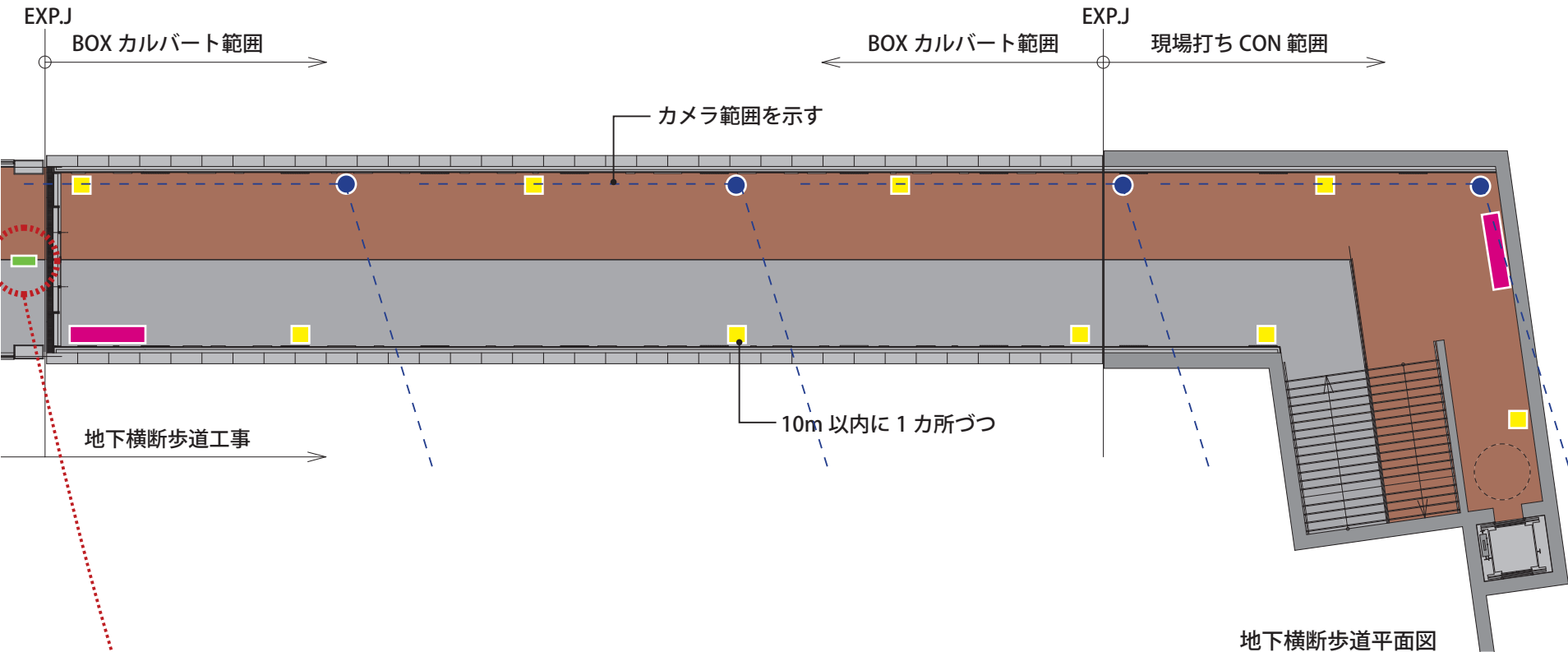
ホワイトボード
W1,200 × H900 程度

※ホワイトボードを 4 カ所程度
設置検討します。位置等は
現場施工時に、協議の上決定
することとします。

天井仕上げ：地産杉材木パネル、内装薄塗材



※色は自由に選定が可能です



インターフォン、IC カードリーダー

インターフォン及び IC カードリーダーは、校舎側、ジオアリーナ側それぞれの出入り口手前に、設置用スタンドを設け、下足・上足用に両側にそれぞれ設けます。

地下横断歩道
バス待合所

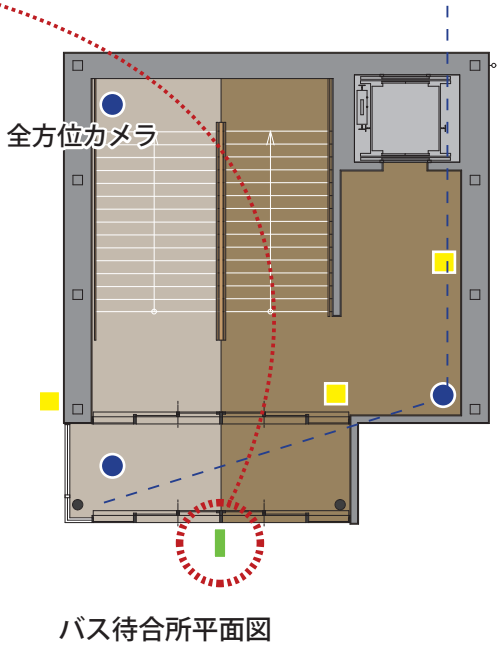
インターフォン
IC カードリーダー

取付用スタンド

インターフォン
イメージ

IC カードリーダー
イメージ

※デザインは、各メーカーによって異なります。



- ：サイネージ位置
- ：コンセント位置
- ：監視カメラ
- ：インターフォン、IC リーダー

デジタルサイネージ

デジタルサイネージのモニターは 50 型の壁掛けモニターを検討しております。尚、映し出す映像は中学校職員室のパソコンから、LAN ケーブルでモニターと繋げて、任意の画像や、動画を流すことが可能な計画とします。

※ 50 型サイズ参考：1129mm × 649mm 程度



コンセント

コンセントは、防水型の外部用コンセントを使用します。設置位置は、通路両側 10m 以内に 1 カ所ずつ度設け、例えば掃除機での清掃を行う際でもコードが届く計画とします。

※掃除機コード 5.0m 程度を想定



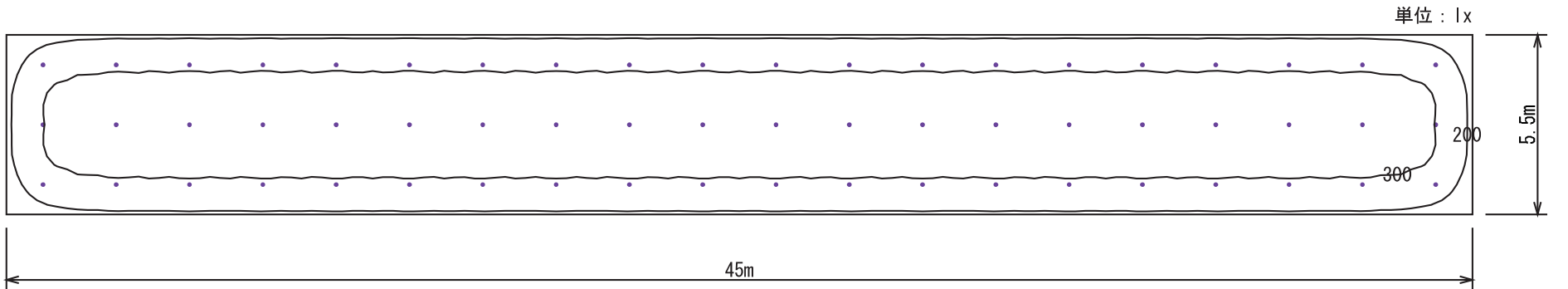
ドーム型ネットワークカメラ



照明計画

国土交通省が規定している、一般的な地下横断歩道の必要照度は、100 lx以上とされております。しかし、本地下横断歩道は、中学生・高校生の登下校でも使用される場所であり、明るく、子供たちが安心して使用できる明るさの確保が必要です。そのため、JIS基準で定められている、普通教室程度の明るさ「300 lx」程度を確保する計画と致します。

また、天井面には地産杉を使用した木パネルを使用しておりますので、ダウンライトを使用し、天井仕上材の隙間から、光が木漏れ日のように漏れる、柔らかい照明計画とします。



地下横断歩道照度分布図

	◎
器具品番	XNW2531BN-LE9
器具種類	ダウンライト
ランプ	LED5000_85_1720
全光束	1,720 lm
保守率	0.81
器具コード	K0167857
取付高さ	2.7 m
取付台数	60 台

	全体
平均照度	292 lx
最小照度	102 lx
最大照度	345 lx
最小／平均	0.347
最小／最大	0.294



防水板の検討

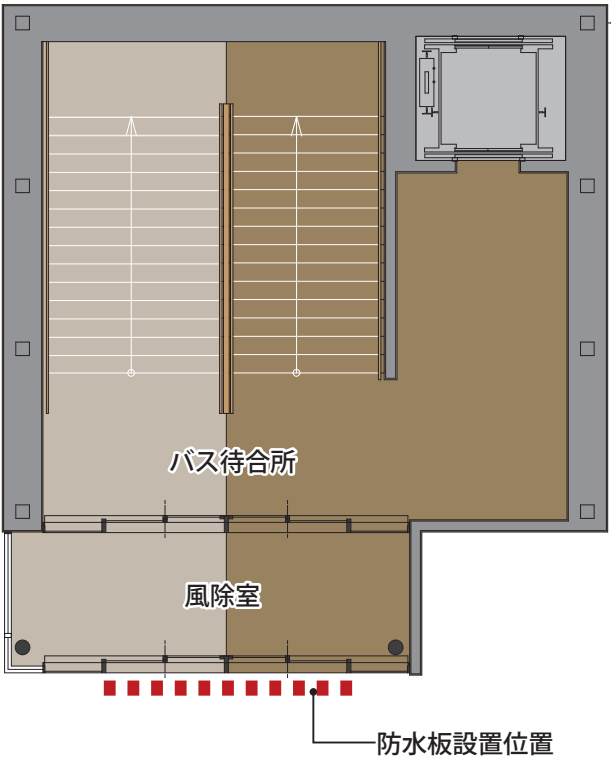
ジオアリーナ側のエンジンドア出入口前に、脱着式防水板、簡易式防水板の設置を検討いたします。



脱着式防水板設置イメージ

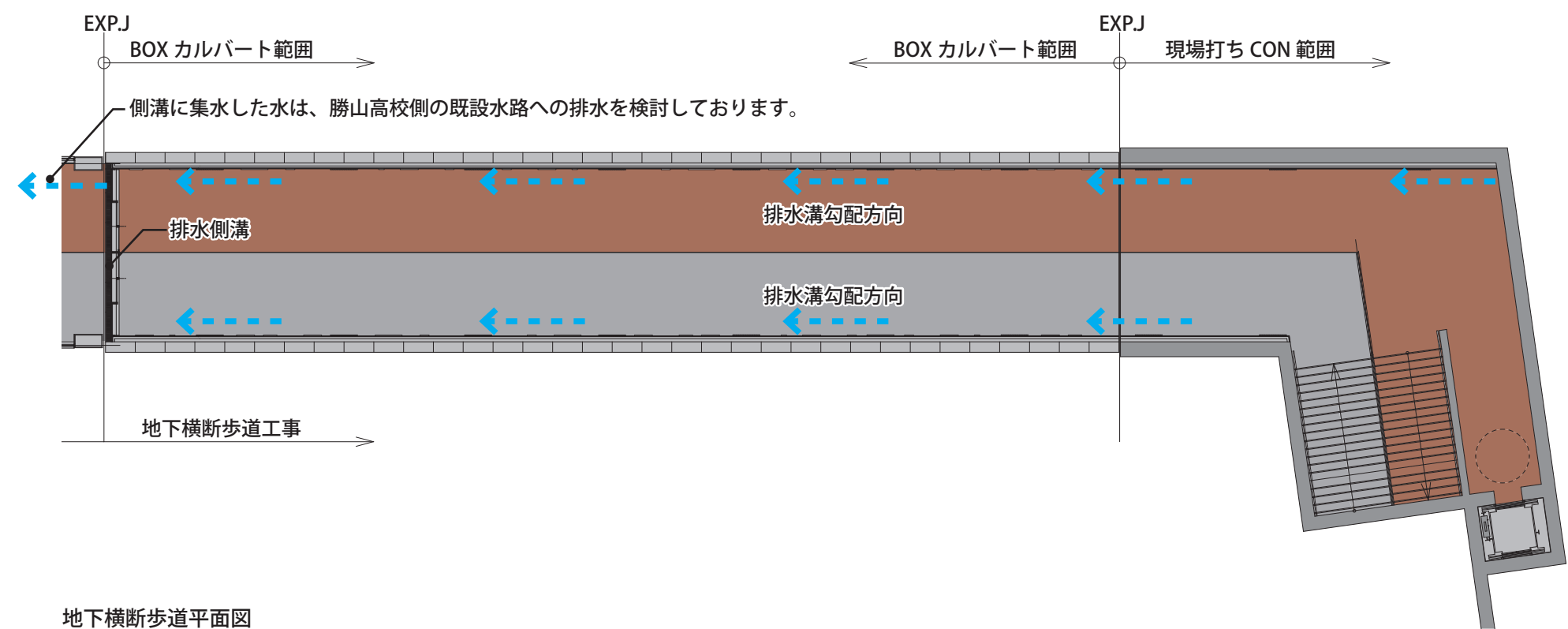


簡易式防水板イメージ

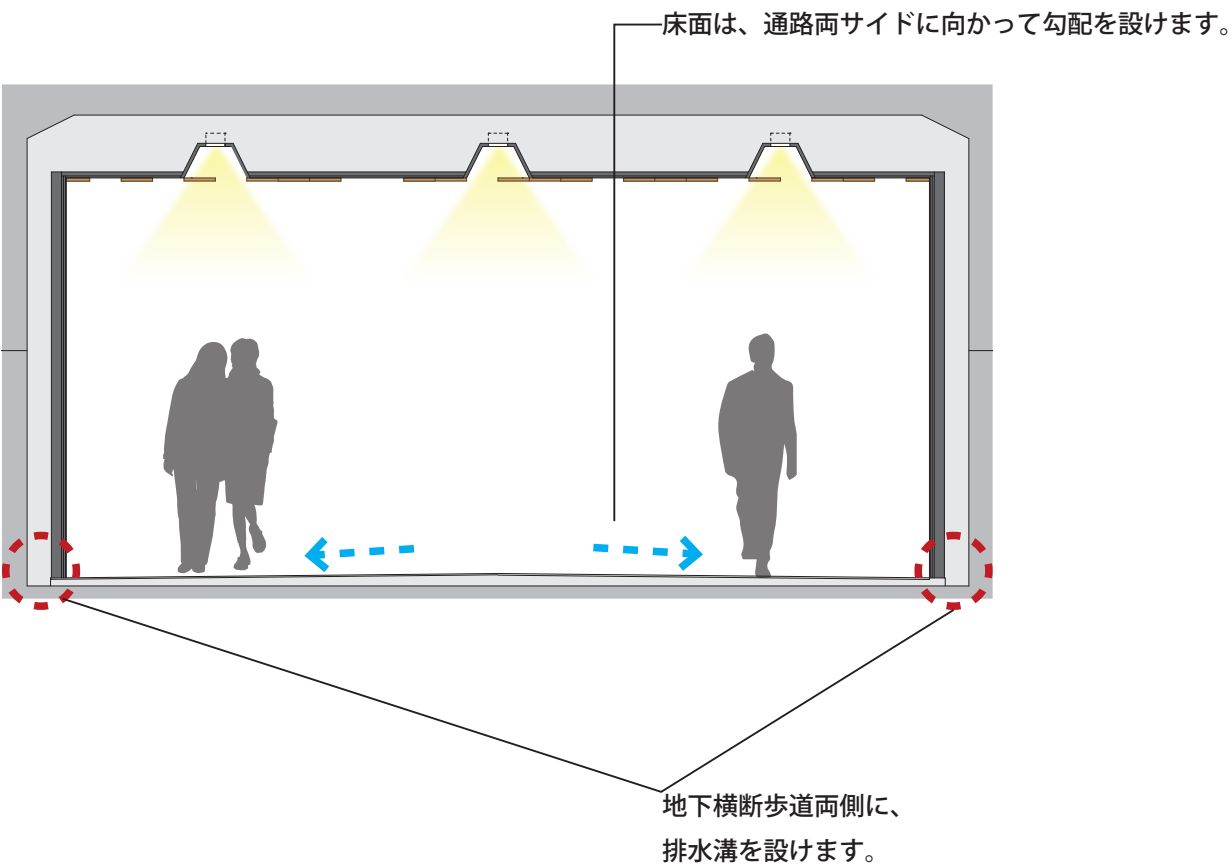


バス待合所平面図

地下横断歩道排水計画



地下横断歩道平面図



地下横断歩道 断面イメージ

～勝山市立中学校建設に伴う地下横断歩道～ ボックス部の工事スケジュール（案）

	令和 6 年度						令和 7 年度													
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
1 次																				
2 次																				
3 次																				

占有者との協議により変更となる可能性有り

※現場打部について

- ・令和7年度上半期に発注予定（金額C=約200百万円）
- ・上屋の基礎コンクリートと兼用となるため、土木と建築のJVで発注予定

[illegible]